

ごす施設としての学童保育所。子どもの数に対してスペースが狭いため、市は改善策のひとつとして、民営の学童保育所の誘致を進めている。「障がい児の受け入れは、どのようになっているのか」との保護者の声を伺った。

市) 民営の学童保育所でも、市と同水準の運営を行っている。よって、障がい児の受け入れは、小学校1年生から3年生までは1人、4年生から6年生までは1人を原則としている。

#### ◆4年生以降も学童保育所の受け入れを

星) 学童保育所は、障がい児を除き、現状では小学校3年生までとなっている。「夏休み期間など、子どもだけで過ごしていることが不安。4年生以降も受け入れてほしい」との保護者の声は少なくない。受け入れに向けて、「今できること」「時間を要すること」を市が精査・検討するために、「どんな形態での受け入れを希望しているのか」といった保護者の要望を把握するアンケートを行っていただきたい。

市) どういう調査の方法があるのかを含めて検討したい。

→他、「病児・病後児保育室委託料の拡充」を質問

## 目的本位。実効性ある 施策・仕組み作りを！



国分寺政策市民フォーラム 丸山 哲平

### 一方通行道路の安全対策について

丸山) 国分寺高校東側の一方通行道路は交通量が多く、かつ通学路でもあり安全対策には万全を期すべき。しかし現状は注意喚起の看板はあれど、制限速度を超え通行する車両も多く、危険な道路となっている。より実効性ある対処が必要であり、蛍光テープを用いた警察官を模した看板設置を行うべき。早急な対応を求む。

市民生活部長) 警察官を模した看板は警察が設置するものだが、議員指摘であり、効果的なものとして警察に対し設置要請して参りたい。

国分寺駅北口再開発ビル・公益フロアについて  
丸山) 再開発ビルの公益フロア・ホールは指定管理者活用が予定されているが、これまでの他事例に比して、より進化したものとするべき。具体的には備品・設備の選定に始まり、民間知見を活かしたものとするべきと考えるがどうか。

政策部長) 議員指摘の通り、施設管理のみならず、市民企画へのアドバイス機能等、創意工夫が発揮されるよう、事業者選定に臨みたい。

### インフルエンザ予防接種費用の助成について

丸山) 今年度より乳幼児へのインフルエンザ予防接種費用の助成が始まった。高く評価するものだが、依然予防接種には各家庭に少なくない費用を求めているのが現状である。「治療から予防へ」の観点から同事業の効果測定とそれを受けて助成拡大を目指すべきと考えるがどうか。  
福祉保健部長) 市として同じ視点を持っている。議員指摘を受け、保険課と健康推進課で連携し効果測定できるよう研究して参りたい。

### AED設置箇所の拡充について

丸山) 市内金融機関・郵便局等は頻りに利用され、市民から見れば公的な場所に近い存在といえる。これら機関にAED設置を求めていく必要があると考えるがどうか。

総務部長) 議員より通告を受け、各機関の設置状況確認を進めている。未設置の場所については設置協力を積極的に求めて参りたい。

その他) ぶんバス、運転免許自主返納、AR技術活用による広報、18歳選挙等につき質問。

## 安全・安心のまちづくり



自民党国分寺市議団 尾作 義明

### ●子どもいじめ・虐待防止条例について

施行後、検証の年となる。取り組みを伺いたい。(教育長) いち早く条例を制定。非常に功を奏している。教職員ではいじめ対策委員が機能するよう組織的に取り組んでいる。市教委では子どもたちが考えた「ストップいじめ! 5か条」「国分寺子どもeルール」の啓発を図っている。いじめ防止、早期発見、早期対応を基本に努めている。(部長) 児童虐待については周知を広めている。実務者会議の中に新たに進行部会を設けて挙がってくる虐待の全てのケースについて助言を頂き進行管理し、防止に努めている。

尾作) 市内は比較的安定している。だからこそ現場の意識低下を招かないよう努めてほしい。

### ●防災倉庫について

現在、市全体の被災の想定に基づき備蓄品を分散して配備している。現実的に帰宅困難者、建築物の高層化、坂の多い地域への対応など特性に合わせて配備すべき。また、新たな防災資機材も多く開発されている。検討して欲しい。(部長) どこまで備えるか考えねばならない。地域に合わせて、研究して、防災備蓄に備えたい。

### ●予防接種について

予防接種は生後2か月から始まる。過密な予防接種スケジュールを考えるとアプリの開発、産前から予防接種の理解をいただき、子どものためと同時に公衆衛生上の認識をひろめるべき。

### ●公共施設マネジメントについて

骨子として適正配置計画を示していただいた。先駆的事业として第九小学校への対応がある。教室が足りない実態に如何に対応するか?

部長) 九小、十小に於いて増築を検討している。尾作) 民生費の増加、厳しい財政状況が続くなか、市民サービスの維持と公共施設の更新を進める姿勢は評価できる。遂行にはビジョンとリーダーシップが必要。市長の意思を伺う。

市長) 長期的視野から、未来の国分寺がどうあるべきか、守っていくか、魅力をつくっていくのかということを力強く推進したい。決意を新たに、使命感と責任感をもって今後も進めたい。

## 西側地域のまちづくり 商工業振興の道筋



自民党国分寺市議団 尾澤 しゅう

### 【国立駅北口地域のまちづくりについて】

尾澤) 国立駅北口のファストフード店とコンビニエンスストアの間の一方通行の道路国3・4・7号線が昨年、市施行の優先整備路線に選定され、平成37年までに事業着手すべき路線となった。当該道路は駅前であることから整備の際は周辺地域の経済活動が活発になるように商店会がある南北に接続する道路を含めて一体的な整備をする必要があり、用途地域の見直し等もしていく必要がある。

答弁) 周辺まちづくりの具体的な時期や手法については現在のところ未定となっていますが、例えば低層階への商業施設の誘導等、国3・4・7号線の道路整備と連携して南北周辺地域の

活性化につなげてまいりたい。

### 【新庁舎建設後のひかりプラザについて】

尾澤) 新庁舎を建設するべく現在、調査中であるが、分散庁舎を解消することが新庁舎建設の大きな目的の一つであることからひかりプラザ内にある教育委員会や文化と人権課は新庁舎へ、またサービスコーナーは国立駅へ移転することは明らかである。移転後のひかりプラザの活用に関して現在考えはあるのか?

答弁) 移転は発生するが、移転後の活用に関しては具体的にはなにも決まっていない。ただ、移転後の施設にその他の公共施設を転用するというようなことも新庁舎の建設の検討と合わせて考えていかなければならない。

### 【弁天通りの用途地域見直し】

尾澤) 市内の事業者数は年々右肩下がり状況である。そのような中で弁天通りの用途地域が隣接市の同程度の近隣道路より低いいため、事業者の誘致や現在ある事業者の事業拡大の妨げになっている。市西側地域の商工業の発展と地域振興の観点から用途地域を出来るだけ早く見直し、変更して当該地域を活性化していくべきだ。

答弁) 当該地域に変化がない状況では難しいが、用途地域の変更は都市マスタープランなどの方針や基準に即しており、地域の方々の理解が得られれば進めていくことも可能だと考えている。

## ぶんバス万葉・けやき ルート開設にあたり



公明党 木島 たかし

### 1・ぶんバス「万葉・けやきルート」

西元町三丁目～西国分寺駅東～国分寺駅西～東恋ヶ窪三丁目(往復)の運行開始にあたり。

問) さらなる周知が必要。①国分寺駅と西国分寺駅の近くにバス停が設置されることから駅構内でのPR②関係自治会等への回覧等③史跡利用者へのバス停への誘導の標識設置等

答) それぞれ関係機関等と連携して進めていく。  
問) 受託事業者となる京王バスは応募時の企画提案で収支向上策での意欲を示している。今後の履行状況をしっかりと確認していただきたい。

答) 確実な実施を市として求めたい。

### 2・省エネや耐久性、防犯対策でも重要な街灯のLED化をさらに進めるために

問) 市所有の街路灯のLED化の進捗状況は?

答) 28年度までに約1300基を実施。29年度以降は自治会等が管理する分も補助対象としたい。

問) 自治会管理分の修繕や取り付けは、自治会がその費用を一時的に立て替えなければならず(現行は半年ごとに精算)蛍光灯に比べ金額の高いLED化は負担が大きいため、精算の期間を短縮するなど普及へ工夫をすべき。

答) 指摘を踏まえ、自治会の負担が少しでも軽減されるように柔軟な対応をしていく。

### 3・スポーツの推進にさらに力を入れるべき

問) 施設の老朽化が進んでいる。安全の観点や2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えどのように取り組むのか?

答) スポーツセンターのバリアフリー化をはじめとして計画的に安全対策を実施していく。

他に、子どもたちにとって重要な学校の校庭の危険箇所の対策への積極的な対応を求めました。

### 4・駅のバリアフリー化を着実に

問) 駅ホーム上で視覚障がい者が内側と線路側を確認できる「内方線付き点状ブロック」の導  
次ページに続く▶